

日本近代建築の父・辰野金吾の仕事

⑥ 辰野金吾について



辰野 金吾

[1854-1919年・唐津市]

建築家

辰野金吾は工部大学校（現在の東京大学工学部）を卒業後、ロンドン大学に留学し、西洋建築を学びます。帰国後は日本国内の多くの洋風建築の設計を手がけ、その第一人者として活躍しました。

東京駅は代表作の一つであり、また佐賀県には辰野が建築設計をした武雄温泉楼門が残されています。

出典：国立国会図書館「近代日本の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)



日本銀行本店 本館

(東京都)

上から見ると、ある漢字が見える……！？



旧唐津銀行

(佐賀県唐津市)

現在は辰野金吾記念館として使われています。

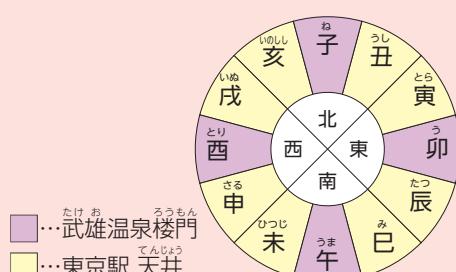
⑦ 東京駅と武雄温泉楼門の天井



武雄温泉楼門 天井

東京駅の天井には8つの干支のレリーフがあります。

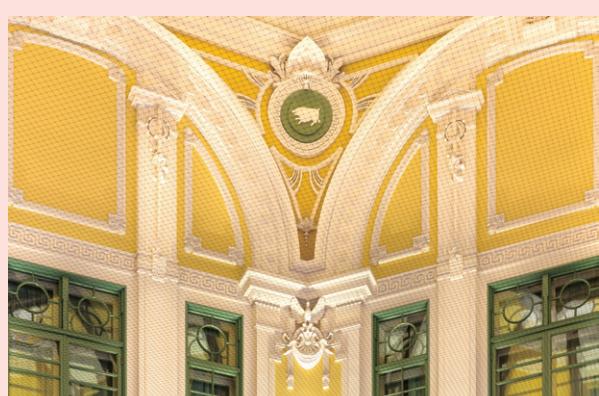
残りの4つの干支は、なんと、武雄温泉楼門の天井画に描かれています。



…武雄温泉楼門
…東京駅 天井



東京駅 天井



東京駅 天井 亥レリーフ